

令和元(2019)年度 課の事業一覧

組織名	交通局 総務経営課・営業推進課		重点項目	公共交通ネットワークの維持(市営路線バスの維持)							
課長名	甲山 乙也・本村 浩幸	コスト	事業費	R1(2019)年度当初予算額(A)	2,663,830 千円	人件費	目安の金額	課長	—	人	
				H30(2018)年度当初予算額(B)	2,216,330 千円		—	千円	係長	—	人
				増減額(A-B)	447,500 千円				職員	—	人

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和元年度(2019)に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成30年度 (2018) 当初予算額 (千円)	令和元年度 (2019) 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				第2次北九州市営バス事業経営計画	<ul style="list-style-type: none"> ○取組期間 2016年度から2020年度までの5カ年 ○取組方針 <ul style="list-style-type: none"> (1)安全・安心な運行の確保 (2)地域社会への貢献 (3)収入の確保 (4)路線の再編 (5)人材の確保 (6)業務の改善 ○取組目標 安全・安心な運行を確保し、利用者サービスの向上に努め、職員一丸となって利用促進等に取り組み、収支均衡を維持する。 ○評価・検証 取組開始3年後に、期間中の取組内容及び結果の評価・検証を行う。運用に当たっては、社会経済情勢の変動等に対応して、随時必要な見直しを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○収入の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・ダイヤ改正(2019年3月30日実施)の定着に向け周知・PRを継続して行い、市営バス利用者の増加を図る。 ・市営バス運行開始90周年記念の取組みなど、様々な機会を通じて市営バスの魅力や情報を発信し、一層の利用促進に取り組む。 ・利用者の利便性向上や利用促進を図るため、全国の公共交通機関で相互利用できるICカードシステムを導入する。 ・新車貸切バス3台体制により営業力を強化し、貸切バスの稼働率60%を目指す。 ○人材の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・2ヶ月毎の採用試験を随時試験に改めるとともに、大型二種免許取得支援制度や女性運転者が働きやすい短時間勤務制度などを、求人情報誌等を活用して効果的に広報することにより、バス運転者の継続的確保に努める。 ・将来の運行管理部門を担う人材の育成を行うため、計画的に正規職員を採用する。 ○経営改善の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・旅行手配業務や小倉北区役所内に置く「旅行センター」を廃止し、経費削減や業務の効率化を図る。 ・路線の維持経費が厳しい経営状況の要因となっている通学支援便や便数が特に少ない路線の見直しを検討する。 ○経営計画の評価・検証 <ul style="list-style-type: none"> ・現計画の取組内容及び結果の評価・検証を行うとともに、2021年度以降の市営バス事業のあり方を検討するため、第三者を構成員とする検討会議を開催する。 	2,216,330	2,663,830	447,500